

第3回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会

- 1 開催日時 令和5年8月3日(木) 午前10時から午前10時40分まで
- 2 開催場所 Web会議
- 3 出席者 委員5名
後委員長、酒井副委員長、塩瀬委員、高津委員、関下委員
豊橋市5名
財務部 朽名財務部長
財政課 魚住主査
総務部
行政課 小林課長、近藤主査、高橋
- 4 会議概要 以下のとおり

発言者	要旨
事務局 (行政課長)	<p>ただ今から、第3回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただき、御礼申し上げます。本日の委員会は11時までを予定しています。</p> <p>なお、加藤総務部長及び伴財政課長は、都合により本日欠席させていただきます。</p> <p>さて、今回の外部検証委員会では、「行財政改革プラン2021-2025取組状況報告書」に対する外部評価をとりまとめることとなります。</p> <p>それでは、後委員長に進行をお願いしたいと思います。委員長、よろしく願いいたします。</p>
後委員長	<p>それでは、ただいまから議事に入ります。なお、事務局から説明がありましたが、今回、「行財政改革プラン2021-2025取組状況報告書」に対する外部評価をとりまとめることとなります。まずは事務局から、外部評価の事務局案の説明をお願いします。</p>
事務局 (財政課・行政課)	《外部評価の事務局案について説明》
後委員長	<p>それでは、本日は最終回ということ踏まえて、外部検証委員会として意見をまとめたいと思います。</p> <p>例えば、小学校と校区市民館の複合化については、少し異なる意見の外部評価が出ていますが、1つの項目に対して2つの意見が並んでいても問題はないということによろしい</p>

発言者	要 旨
	<p>でしょうか。</p>
<p>事務局 (行政課長)</p>	<p>合議体としての外部検証委員会の意見を掲載するという考え方から、1つの項目に対して同じような趣旨の意見があれば、事務局で整理し1つにまとめて記載しています。また、趣旨が少し異なる意見がある場合も、事務局で調整させていただき、1つの意見となるよう記載しています。</p> <p>小学校と校区市民館の複合化について、多様な意見がある中、ある程度関係者の要望を取り入れながら、計画どおり事業を進めていくことも必要であるというご意見は、報告書へ記載すべきと判断しました。また、複合化のメリットを整理し今後活かしていく必要があるというご意見についても、報告書へ記載すべきと判断しましたので、2つの意見を記載いたしました。</p>
<p>後委員長</p>	<p>ありがとうございました。 それでは各委員からご意見等をお願いします。</p>
<p>高津委員</p>	<p>ふるさと寄附については、昨年度も外部検証委員会で話題となりましたが、昨年度出た意見に対して、何か対応をされたのかが気になりました。検証をしていくという視点も大事だと考えます。</p> <p>東京都世田谷区や文京区では、ふるさと寄附による区税への影響額が大きいことから、自区住民からの寄附に力を入れているとのこと。特定の分野に使い道を限った寄附ですが、このような制度を活用することで、市税の流出を抑制することもできるかもしれません。</p>
<p>後委員長</p>	<p>ふるさと寄附は、現在、総務省においても制度の見直しを進めているところであり、自治体間の分捕り合戦のような状況を抑えようという方向で検討を進めていると思います。</p> <p>しかし、当初自市へ収納されていた税金の3分の1から半分程度が他自治体へ流れてしまううえに、寄附額の内の何割かが様々な経費に費やされています。寄附額全額が寄附先の市に入るのであれば良いのですが、返礼品や業者への手数料として引かれる割合が大きいことが、一番重大な問題だと考えます。ただし、このことが、市民が税金の行き先に関心を持ったり、自治体が返礼品の充実を試みたりする刺激にもなることもあり、賛否両論ある制度だと思います。豊橋市の場</p>

発言者	要 旨
	<p>合は、市税が流出しかねない状況ですが、制度自体を根本的に変えるのは総務省レベルの話であり、自治体としては、委員の皆様からいただいた意見のようなかたちで努力していくものであると考えます。</p> <p>なお、この制度について一番違和感を覚えるのは、「寄附」と呼んでいることです。最初の段階では一時的に「寄附」となりますが、最終的には寄附者は 2,000 円の負担で返礼品もらっており、本人にとって利益となります。</p> <p>このような問題をはらんでいる制度ではありますが、自治体としては個別に努力をしていかざるを得ないものと考えます。</p>
塩瀬委員	<p>先ほど高津委員がおっしゃったように、来年度の外部検証委員会では、今年度の外部評価を踏まえた改善の結果がわかる資料もご提出いただけると、より検証が進むのではないかと思います。</p>
関下委員	<p>私からは、細かい話にはなりますが、行政運営の施策番号 11「時代に即した広報の推進」において「Twitter」に係る記載があります。先日、名称が「X」に変更されましたが、報告書の表記も変更すべきかどうか検討が必要であると考えます。</p>
事務局 (行政課長)	<p>「Twitter」の表記については、広報戦略室等にも確認し、適切な表記となるよう対応させていただきます。</p>
酒井副委員長	<p>私としても、高津委員がおっしゃったように、外部評価がどう生かされているのか気になりますので、来年度、外部検証委員会としてもそのあたりの取組ができれば良いと考えます。</p> <p>全体への意見として K P I や指標について書かせていただきましたが、第 2 回外部検証委員会におけるヒアリングを通して、K P I や指標では表すことができない部分に、評価すべき点や改善すべき点など重要な情報があると感じました。来年度のヒアリングは、特定の施策や取組に焦点を当てて深掘りすることも重要ではないかと考えました。例えば、ふるさと寄附については、ゆかりがある自治体に寄附をすることもあると思いますので、関係人口や交流人口を踏まえてどのように P R していくか、委員も一緒に考えることができ</p>

発言者	要 旨
	<p>るかもしれません。</p>
後委員長	<p>前年度の外部評価の反映も含め、継続的に議論をしていきたいという意見も出ていますので、来年度の外部検証委員会の実施方法の参考にしたいと思います。</p> <p>報告書へ記載する外部評価のとりまとめ案については、本案で概ね良いのではないかとこのご意見だったと思います。</p>
高津委員	<p>K P I や指標の達成状況だけではなく、豊橋市の行財政改革の良い点や改善点等を、褒めたり励ましたりする観点から記載すると、実際に業務に携わっている職員の心に響くのではないかと思います。</p>
後委員長	<p>委員の皆様の意見を読ませていただくと、問題点だけを指摘するのではなく、この点は良いので更に取組を進めていくと良いのではないかとといった意見が多く出ています。来年度も、褒めるべきところは褒めるという姿勢で意見を出せると良いかと思います。</p> <p>それでは、本日まとめたものを外部検証委員会としての意見としたいと思います。念の為、最後の確認を私に一任いただき、事務局と調整させていただければと思いますが、皆様よろしいでしょうか。</p> <p>なお、最終的に、まとめられた外部評価については事務局からメール等にて委員のみなさんへ送付いただくようお願いいたします。</p> <p>今後について事務局から連絡がありますので、進行をお返しします。</p>
事務局 (小林課長)	<p>様々なご意見をいただきありがとうございました。今後の外部検証委員会運営の参考とさせていただきます。</p> <p>また、報告書へ記載する外部評価についても、貴重なご意見をいただきありがとうございました。本日いただきましたご意見をもとに報告書を作成し、8月下旬に行財政改革推進本部にて決定し、9月初旬に市議会へ報告後、ホームページで市民の皆様に公表をいたします。</p> <p>皆様からいただいたご意見を各部局にもフィードバックし、更なる行財政改革の推進に努めて参りたいと思いますので、引き続き、ご指導のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、今年度の外部検証委員会は今回で終わりとなり</p>

発言者	要 旨
	ます。 ありがとうございました。